

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公開番号】特開2012-21209(P2012-21209A)

【公開日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-005

【出願番号】特願2010-161679(P2010-161679)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/24 (2006.01)

C 2 3 C 14/12 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/24 C

C 2 3 C 14/12

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月15日(2013.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

この第1連通口12は、第1の拡散室11の天井部分と対向するように、その位置が設定されており、これにより蒸発材料の蒸気が第1の拡散室11の天井部分に衝突して蒸発材料の蒸気の拡散が促進されるように構成されている(図2(b)においては、理解を容易にするため、第1連通口12及び第2連通口22の位置が重なるように描かれている)。

第1の拡散室11は、その天井部分(第2の拡散室21の底部)に設けられた二つの第2連通口22を介して第2の拡散室21に接続されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

また、第2連通口22は、第2の拡散室21の天井部分と対向するように、その位置が設定されており、これにより蒸発材料の蒸気が第2の拡散室21の天井部分に衝突して蒸発材料の蒸気の拡散が促進されるように構成されている(図2(b)においては、理解を容易にするため、第2連通口22及び第3連通口32の位置が重なるように描かれている)。